

自然と活力に満ちた個性ある豊かな金華のまちづくりをめざして……

金華まちづくり

ニュース
1

発行/金華まちづくり協議会/1989年6月1日発行/事務局/岐阜市木造町24株タック内・Tel.0582-64-0824



自然を……

切り取って
平気ですか

鞆屋町に13階建ビル構想!

「高層ビル公害」を考えよう……

この程、鞆屋町内において13階建の分譲マンションが建設されるようになっています。

建築内容の詳細は現段階では明らかになっていませんが、鞆屋町十五の一他で、延べ面積二、九六〇㎡に、高さ三十七mの分譲マンション三十五戸(4LDK)と聞いています。

このマンションは、金華校下初の高層ビルであり、最近問題になっている「高層ビル公害」が予想されます。

このビル公害は、日照権の侵害、ビル風の被害、電波障害が起き、

その上に地域の生活環境まで破壊してしまいます。

それだけではなく、工事による地下水の変化・汚染、工事車両による通行障害、交通事故、振動や騒音と数えあげれば、きりがありません。あまりにもその影響は大きく、金華校下において一大問題となりました。

美しい金華山も高層ビルによってボッカリと切り取られ、美しい眺めが消えるわけです。

私たちは、今回の建築計画を、金華校下の将来にとって、まちづくりにとって、考えなければなりません。

街づくりのまちづくり協議会発足

住民本意の街づくりビジョンを、歴史的財産と豊かな自然を整備して残していこう、という「金華まちづくり協議会」の創立総会が去る一月十六日、岐阜市歴史博物館で開かれました。

私たちの金華校下は岐阜市の発祥の地として歴史、文化の遺産も多く古い街並が今も残っています。

金華山をバックに鶴岡観光の拠点で、さらには岐阜市が積極的に進めようとしているコンベンション都市づくりの中核的な地域です。

約二千四百世帯の金華校下は、市内で三番目に人口減少率の高い校下で、高齢化や若者の転出、産業活動の停滞、古い街並の保存・開発など校下が抱える問題を、私たちの手で考えようと協議会を足させました。

当日は、蒔田浩・岐阜市長から行政サイドの公共事業としてのまちづくり整備計画も発表され、金

ません。

今年度は、まちづくりの住民アンケート調査を実施し、金華のまちづくり構想の策定をする年です。自分たちのまちは、自分たちの手で、すばらしい金華にするためにご意見をお寄せください。

住みよい金華を「願い」をこめて!



金華まちづくり協議会会長
三井 信平

明るく住みよい、そして活力ある町づくりを目指して「金華まちづくり協議会」が発足いたしました。山紫水明、歴史と観光の町金華ではございますが、果して現状のまま、単に時の流れに任せているだけでよいものでしょうか。

真に我が町金華を愛するならば今こそ私も住民の手で、二十一世紀を展望する中で、その歴史と文化を把握し、またその上に立つて校下発展のための願いや隘路を見付け出し、その解決に向けて知恵を出し合っていくことが必要ではないかと思えます。

誠にむづかしい事ではございますが、校下各年代層の方々の「願い」を集約し、各種団体のご協力を得て、一步一步、地道にその実現に向かって努力を続けて参りたいと考えています。

広く校下の皆さま方のご理解、ご協力、ご参加をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

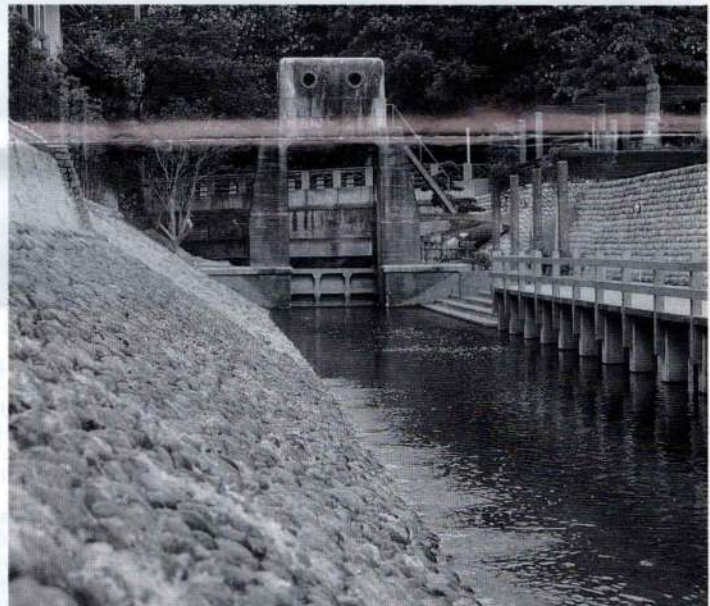
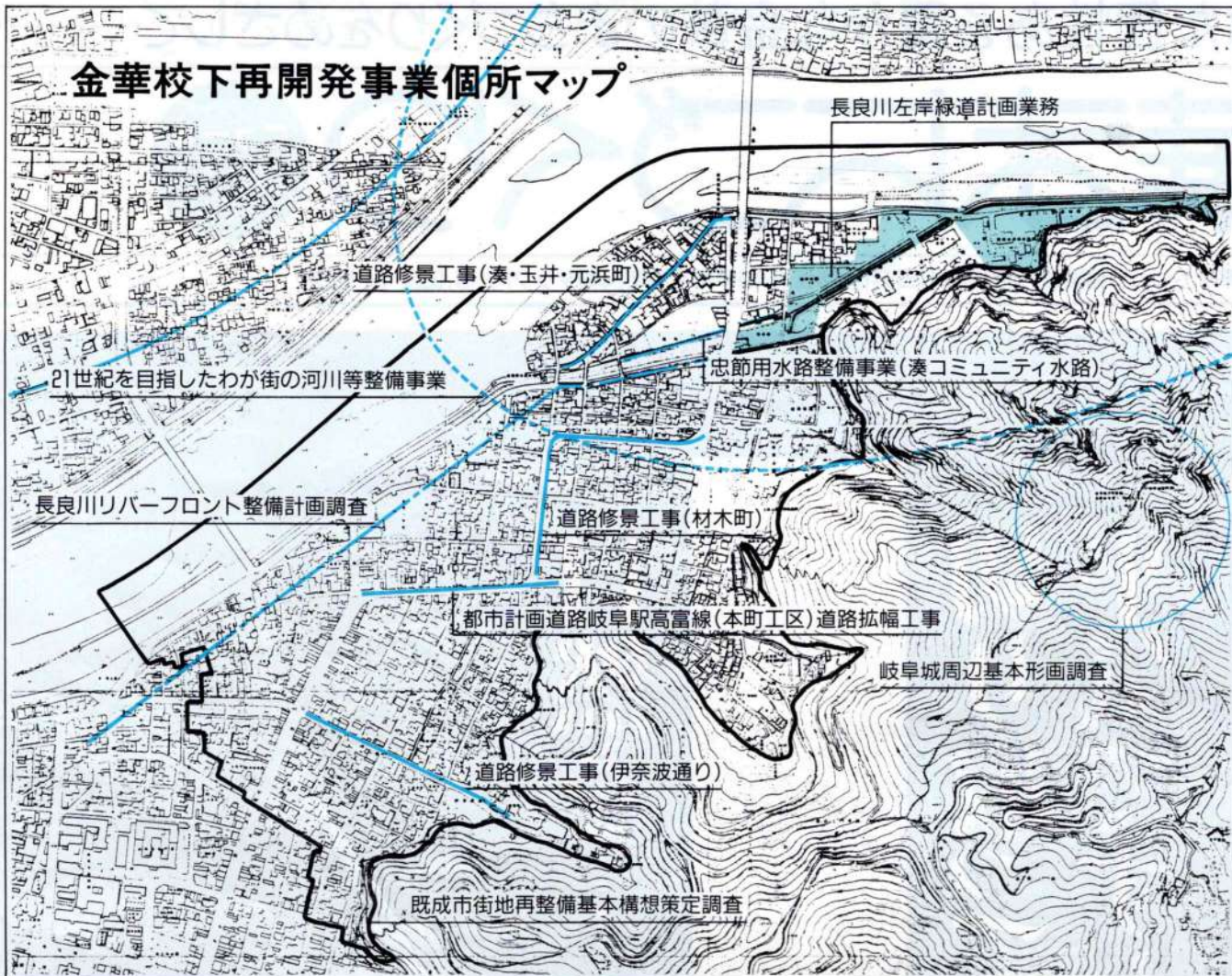
住民主体のまちづくりに期待



岐阜市長
蒔田 浩

日ごろ、金華校下の皆様方には市政各般に亘り深い御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年、本市の将来都市像でありますコンベンション・シティ岐阜、ファッション都市岐阜の構築に向けて、鋭意推進を図ってまいりたいと考えております。

本市の未来に拓ける都市づくり元年とも言ふべき時に、岐阜市発祥の地であります金華校下におかれまして、住民自らが自分たちの住むまちについて共に考え、新しいまちづくりを進めたいとして校下民総意による「金華まちづくり協議会」が設立されましたことは



水と緑に囲まれた出会いの道「湊コミュニティ水路」の上流部(通称ロボット)が完成/金華山の緑と、人口の滝、緋ゴイが遊ぶ市民の散策の道、出会いの道へお越しください。

まちづくり初年度事業計画

▽まちづくり定例会

- 六月四日 歴史博物館 地区のまちづくりに活用すべき資源部会発足について
- 六月二十五日 金華公民館 住民アンケート調査の内容と進め方
- 七月十六日 金華公民館 金華の教育福祉からみたまちづくり
- 九月十七日 歴史博物館 住民のまちづくり意向結果報告
- 十月十五日 歴史博物館 他都市のまちづくり事例視察
- 十一月十九日 歴史博物館 他都市のまちづくり事例と実現手法
- 十二月十七日 歴史博物館 金華地区のまちづくりの方向づけ
- 一月二十一日 歴史博物館 まちづくりビジョン素案について
- 二月十八日 歴史博物館 まちづくり提案のまとめ

▽三部会の発足

- 歴史・文化・景観検討部会
- 企画事業部会
- 広報部会

▽まちづくりニュースの発行

▽人づくり・コミュニティづくり活動

大仏フェスティバルなどイベントの計画

すてきな街路樹のある「まち」ってステキ!!



河村 真紀さん
本町3 22歳OL

私たちの街からチンチン電車がなくなり、緑の金華山を眺める風景も変わってきました。そして、私の住む街並も道路の幅で大きく変わろうとしています。生まれ育った街ですし、愛着があり少しさみしく思います。しかし、道路が広くなり、すてきな街路樹が木陰をつくり、季節の風を送ってくれると思うと、また、楽しくなります。父母の育ったまちから、私たちが守り育てていくうちに、今、変わろうとしているわけです。オシャレでステキなまちになるよう期待しています。



しだれ桜の並木も美しい伊奈波通り。電線の地下埋設ですっきりとした街並に生まれかわりました。

協議会へのご加入は

金華まちづくり協議会は、住民のみならずの会費・寄付金によって運営されます。いち早い情報をみなさまとともに協議し、私たちのまちを「住みよいまち」にするためにぜひ、ご加入くださいましてご支援いただけますようお願い申し上げます。会費は、一口三千円。お申込は、事務局まで。事務局—岐阜市本造町24株タック内・金華まちづくり協議会

●豊かな金華のまちづくりをめざして 金華校下全世帯にアンケート実施

実施日:7月上旬
ご協力をお願い申し上げます。

金華まちづくり協議会 役員(順不同)

名誉会長	顧問	会長	副会長	幹事長	監査	事務局長
安田梅吉	桑原善吉	小林好成	吉田嘉平	三井億平	山田武雄	岩崎慶太郎
河合歌子	丹羽和歌子	江崎周三	杉山孝三	齊場真彦	中山孝三	山田孝三
神田孝三	尾関孝三	田代孝三	後藤孝三	長屋孝三	山口孝三	伊藤孝三

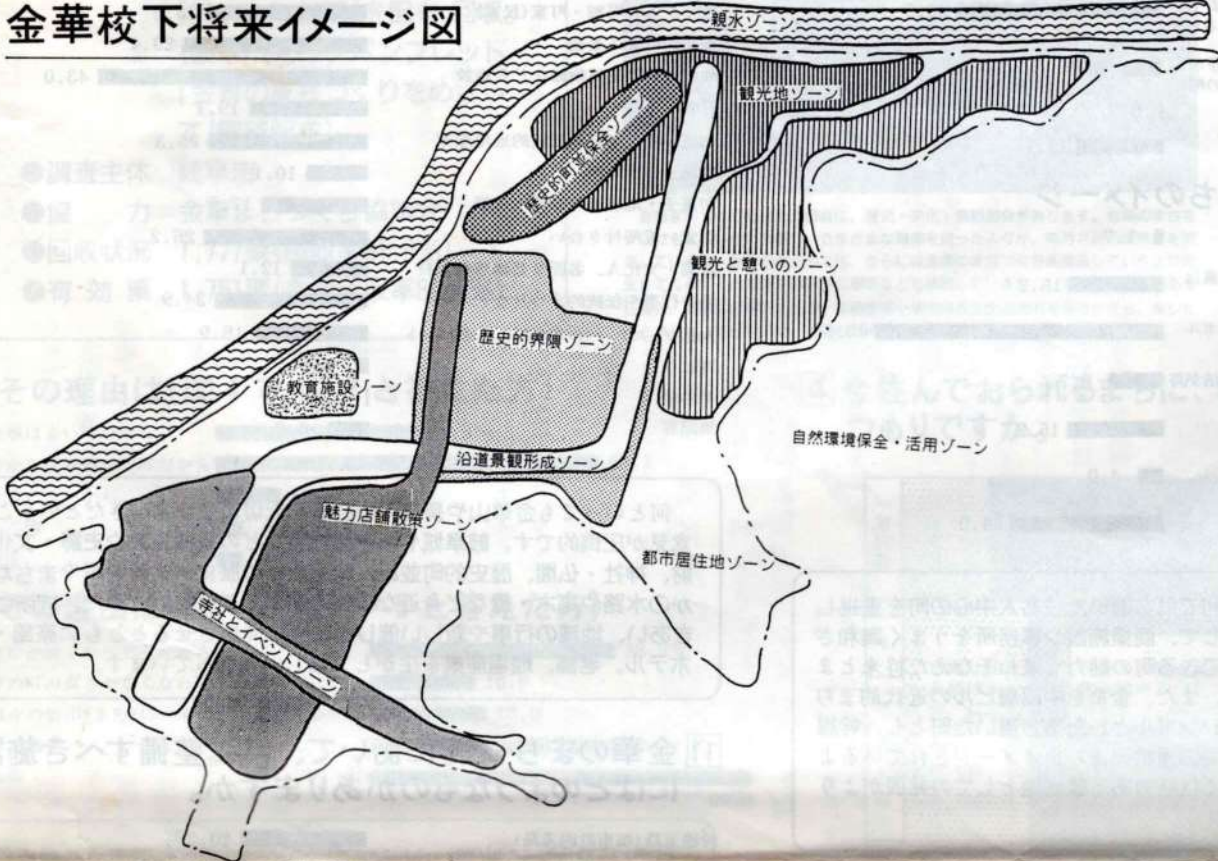
自然と活力に満ちた個性ある豊かな金華のまちづくりをめざして.....

金華まちづくり

ニュース
2

発行/金華まちづくり協議会/1990年7月1日発行/事務局/岐阜市木造町24株タック内・Tel.0582-64-0824

金華校下将来イメージ図



★★★★★★★★

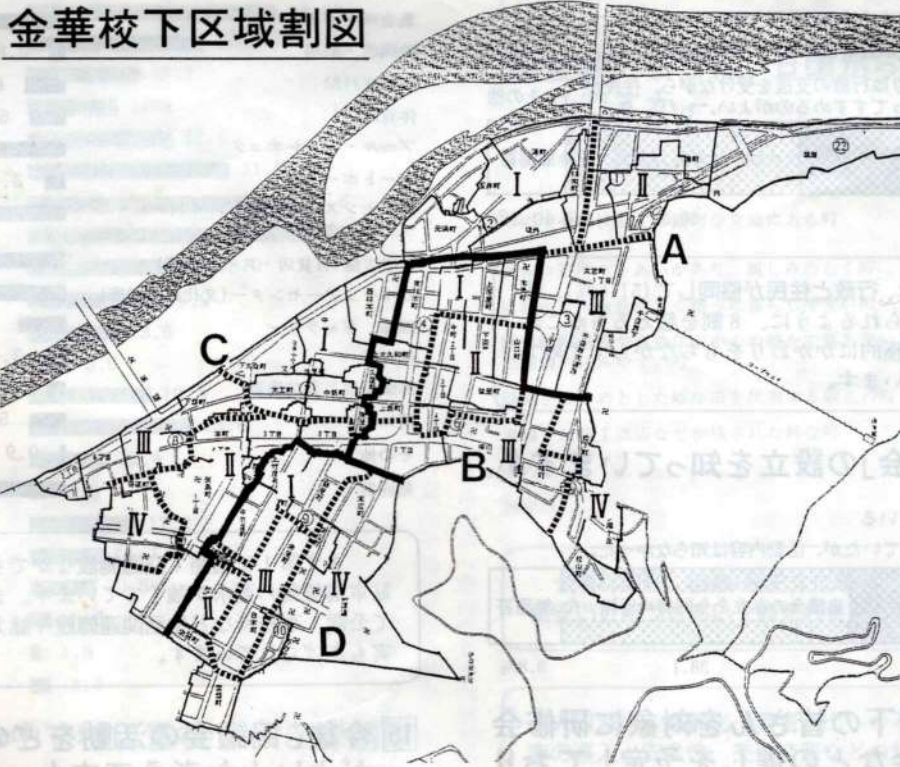
金華のまちの基礎調査がまとまりました。昨年の全世帯アンケートによるまとめた歴史・文化・景観部会によって、毎月2回の研究会、地区懇談会、岐阜市、COM計画研究所の協力を得て、資料がととのいました。金華まちづくりの検討課題を①道路・交通計画②土地利用方針③自然と歴史文化の活用・保全④住宅・住環境整備⑤地域産業の振興⑥地域コミュニティの活性化の6つの柱と23のテーマに集約しました。そこで、この研究を、7月22日の定例会(会場：市歴史博物館)で発表し、8月から、Aブロックから各町内において会議を開き、地元の声の声を広げます。

金華校下の基礎調査まとまる。 あなたの町内で「まちづくり」が始まります!!

★★★★★★★★

ブロック別説明会で生の情報を多く集めたい.....
そのため、金華を4ゾーン15ブロックに分けました。

金華校下区域割図



7月・8月の予定

- 7月12日(木)PM7:00~ 公民館 景観部会
- 7月22日(日)AM10:00~ 歴史博物館 定例会
- 7月26日(木)PM7:00~ 公民館 景観部会
- 8月7日(火)PM7:00~ 公民館 A I地区
- 8日(水) A II地区
- 10日(金) A III地区
- 8月9日(木)PM7:00~ 公民館 景観部会
- 8月21日(火)PM7:00~ 公民館 B I地区
- 22日(水) B II地区
- 24日(金) B III地区
- 8月23日(木)PM7:00~ 公民館 景観部会
- 8月28日(火)PM7:00~ 公民館 B IV地区
- 29日(水) C I地区
- 30日(木) C II地区

■ブロック別町内名

- A I 玉井町、元浜町、湊町(一部)、上材木町(一部)、川畔町
- A II 湊町(一部)、上材木町(一部)、御手洗
- A III 大宮町1・2丁目(千疊敷下、千疊大道西)
- B I 木挽町、上茶屋町、東材木町、上新町、上大久和町、今町1丁目
- B II 山口町、下茶屋町、今町2・3・4丁目、益屋町、大仏町
- B III 梶川町、松ヶ枝町、本町1丁目
- B IV 松ヶ下町、夕陽ヶ丘、松山町
- C I 西材木町、大工町、中大桑町、中新町、下大桑町、布屋町、蜂屋町、久屋町、魚屋町
- C II 本町2・3・4丁目、矢鳥町1・2丁目、間之町
- C III 甚衛町、下新町、本町5・6・7丁目
- C IV 啓運町、木造町
- D I 上竹屋町、大和町、中竹屋町、靱屋町
- D II 松屋町、栄扇町、常盤町
- D III 米屋町、白木町、伊奈波通2・3丁目
- D IV 未広町、新桜町、伊奈波通1丁目、万力町

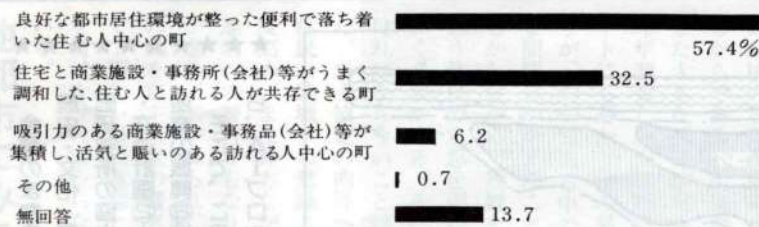
本年度中に、4ゾーン15ブロックの町内別説明会をそれぞれ年3回、合計45回開催し、地元の声の声を聴きします。開催日と時間、場所は自治会を通じて、開催日の一カ月前にお知らせいたしますので、多数ご出席いただきます。ご意見をお聞かせください。

校下全世帯を対象にした住民アンケート調査まとめ

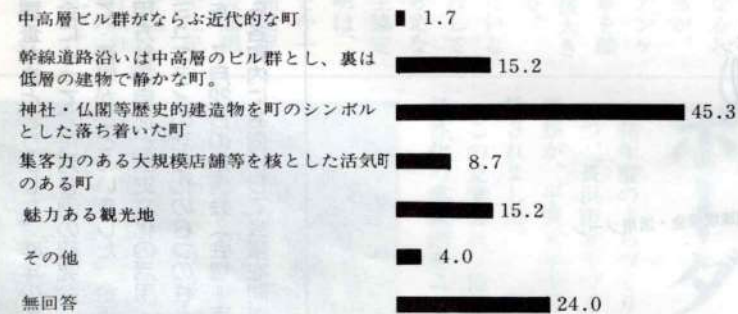
どのよう
にまちの
資源を生
かし、金
華の将来
イメージ
を目指す
のか

10 将来どのようなまちのイメージを目指すのが良いとお考えですか。

a. 金華校下のイメージ

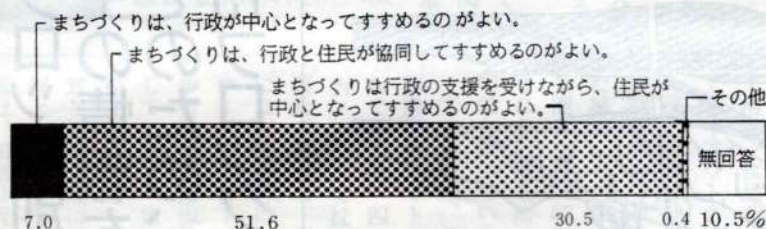


b. あなたの町内のまちのイメージ



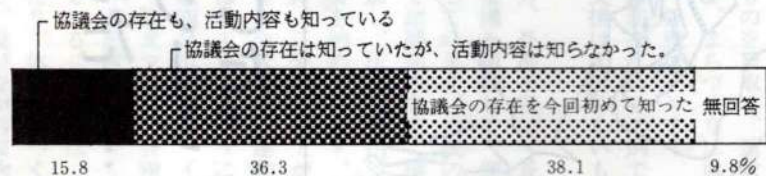
金華校下全体としては、便利で落ち着いた住む人中心の町を重視しながらも、各地区の特性に応じて、商業施設や事務所をうまく調和させた住む人と訪れる人が共存できる町の魅力も兼ねそなえた将来とまちのイメージが想定されます。また、金華を中高層ビルの近代的まちとせず、歴史資源等を町のシンボルとした落ち着いた町とし、幹線道路沿いでも路地を入れれば低層の建物のまちをイメージされているようです。岐阜公園～長良川畔では魅力ある観光地としての発展がより強くイメージされています。

13 金華のまちづくりをどのような方法ですすめるのがよいとお考えですか。

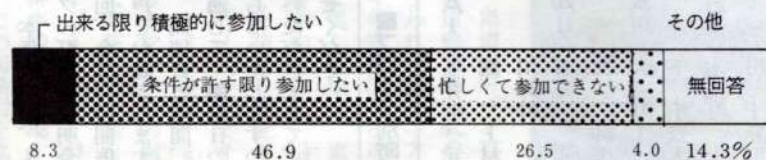


これからの金華のまちづくりは、行政と住民が協同して(51.6%)、住民が中心となって(30.5%)にみられるように、8割を超える方がこれまでとは違って、住民がより積極的にかかわりをもちながらすすめていくべきだとの見解を示されています。

14 「金華まちづくり協議会」の設立を知っていますか。



15 協議会では、今後校下の皆さんを対象に研修会部会(集まり)・講演会などの催しを予定しております。あなたはどうかお考えですか。



金華校下の過半数を超える皆さんが、協議会の催しに参加したいとの前向きのご意向をお持ちです。協議会は、全住民の皆さんとともに着実なまちづくりをすすめていきたいと思っております。ご協力ください。

8 金華のまちづくりに生かしてほしい資源は、どのようなものがありますか。



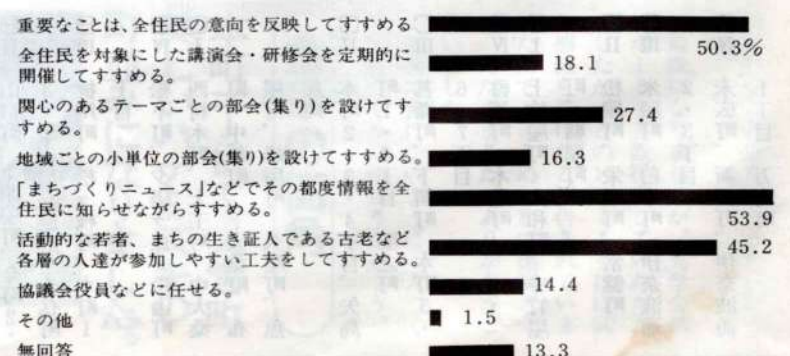
何とんでも金華山や長良川の自然を大切に生かすべきだというご意見が圧倒的です。岐阜城や歴史博物館などの公共施設や史跡・文化財、神社・仏閣、歴史的町並み、町名などの歴史・文化資源やまちなかの水路や高木・緑など身近な自然も生かしてほしい。また、近所づきあい、地域の行事や新しい催しを生々と発展させるとともに旅館・ホテル、老舗、地場産業を生かしてほしいとなっています。

11 金華のまちづくりにおいて、特に整備すべき施設にはどのようなものがありますか。



まず第1に道路・交通施設なかでも歩行者の安全・散策ルートや駐車場整備の要求が強くてきています。また、定住環境づくりをめざして公園・事務所など生活関連施設や魅力的な商業・文化諸施設等の充実もあげられています。

16 今後、協議会の活動をどのようにすすめていくのがよいとお考えですか。



金華のまちづくりは、住民が積極的ににかかわりをもっと進める

まちづくりの中で、特に充実すべき施設はどのようなものか

協議会を母体に皆さんの協力を進めてまちづくりの推進を

まる 金華のまちづくり構想案づくりの段階へ

調査のご協力、校下80%を上回る

高い定住意向「愛着」と「良さ」への評価 まちへの

金華は、都心に便利で自然や歴史文化に恵まれた魅力的で住みやすいまち

しかし、改善すべき、さまざまな問題や将来の課題もありそうです

昨年、金華まちづくりに関するアンケートが実施されました。岐阜市における全世帯を対称にしたアンケート実施は初めてのケースですが、80パーセントを上回る高い回収率が得られました。改めて金華自治連合会のご協力と校下の皆さまのご協力に厚く御礼を申し上げます。資料を丁寧に分折し、調査結果をここに要約いたしましたのでご覧ください。

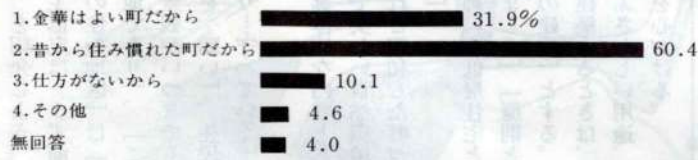


金華まちづくり協議会の部会に、歴史・文化・景観部会があります。金華のまちを少しでもよくしたいという願う、さまざまな職業を持った人々が、毎月2回の研究会を開催しています。金華の歴史や文化、さらには金華のまちづくりを推進していく上で発生してくる多くの問題や具体的な事項なども検討しています。写真は、6月のある日曜日、実際に金華のまちを、加納金華小学校校長先生の説明を聞きながら、楽しく歩きました。知らない道、建物など素敵な金華を発見しました。

アンケート結果の概要

- 調査期間 平成元年7月20日～8月20日
- 調査対象 金華校下全世帯 2,178世帯
- 調査方法 自治会連合会の協力により「アンケート票」を配布、回収。(岐阜市発行/パンフレット「金華のまちづくりをめざして」同時配布)
- 調査主体 岐阜市
- 協力 金華まちづくり協議会
- 回収状況 1,777票(回収率81.6%)
- 有効票 1,751票(有効回収率80.4%)

●その理由は(問4で1・2と答えた方)



●その理由は(問4で3・4・5と答えた方)

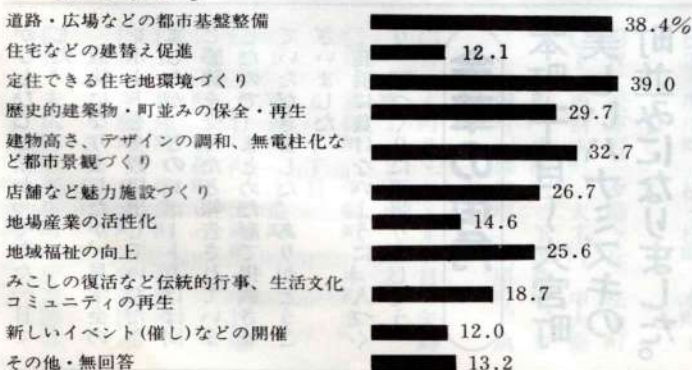


住み慣れたまち、金華はよい町が住み続けたい理由にあげられています。

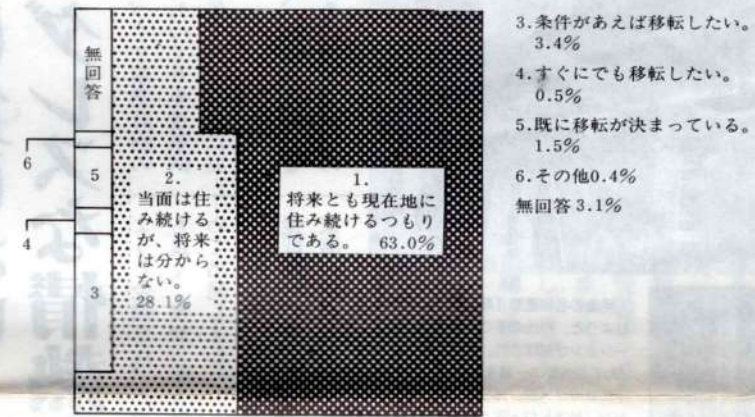
6 最近問題だとお感じの点は何ですか。



7 金華のまちづくりの中で特に重視すべき課題は何ですか。

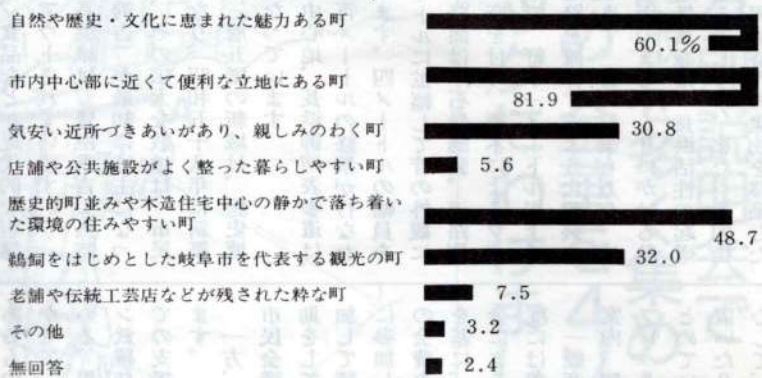


4 今住んでおられるまちに、将来住み続けられるおつもりですか。



現在地に住み続けるとお考えの方が全体の約9割強を占めています。

5 金華のまちは、日頃からどのようなまちだとお感じですか。



金華は便利、自然・歴史文化環境、落ち着いた住環境のまちであり、気安い近所づきあいや観光のまちとしての特徴をもっています。

人口減少・高齢化・若者流出への不安や駐車・駐輪問題、路地への車の進入と安全性、交通渋滞などの対策、住宅の老朽、空家の進行、建てづまりによる火災等防災問題をはじめ生活関連諸施設の不足などが指摘されています。また、将来的には建物の高層化、町並み景観などに対する問題が発生することも予測されそうです。

金華のまちづくりでは、定住できる住宅地環境づくりをまず第1に重視してほしいとなっています。都市計画道路や細い路地が残されていることなどもあり、都市基盤整備を充実するとともに、将来にむけた都市景観づくりや歴史的建築物・町並みの保全・再生の重要性もあげられています。また、地域福祉の向上や生活文化・コミュニティの再生など心と心がふれあうやさしさのあるまちづくりも大切な課題として指摘されています。

まちづくり・人づくりに取り組んで

町を愛する

意識改革を持つこと。

韮屋町マンション

問題にはじまる

岐阜市の発祥の地である金華は歴史の中心地として栄えた。正法寺の大仏や信長ゆかりの常在寺など三十三寺をはじめ、多くの歴史文化が点在している。

金華の町には、それぞれ歴史を漂わせる町名がある。木造左衛門尉具康の屋敷跡といわれる木造町、林甚右衛門の邸宅跡の甚衛町、材木屋を集めた材木町などの名称が数多く残っている。

学問的に必ずしもそれが実証されているわけではないが、金華の文化とロマンを感じさせる。

昨年、この金華に「金華まちづくり協議会」が発足した。そして手探りの時に大きな問題に突きあたったのが、韮屋町の高層マンション建設という金華にとってショッキングな出来ごとである。

以来、地元住民をはじめ、金華自治連合会、金華まちづくり協議会、対策や協議を積み重ね、また周辺の町内にも、自分の町内の問題として考えてくださいと訴え続けてきた。しかし、反応は極めて少なく、本年一月十二日、地鎮祭となった。

この間、景観問題、住民問題、交通問題、電波問題、ビル風問題、工事問題、安全問題等々を建築主内田橋住宅株式会社、施工者大日本土木株式会社と協議を続け、工事に伴う協定書づくりに努力を続けてきた。

こうして、当初13階建ての計画が12階に変更され、地域の景観に合ったマンションが建設されるこ

とになった。このマンションは、来年五月に完成する予定だ。

この問題のさなか、地元をはじめ、13階建てマンション建設は認めないと考えた。そして、問題は残るが、先の高さ規定といったものの高さで不承無精の同意となったのである。金華には空地や空家が二五〇軒もあり、もし一軒の高層建築を許すと、周辺にも同じような建物が続出するのは必至だからである。現に、三、四件の高層ビル案がある。住環境になっている金華には、繁華なときのままの商業地域の規制がそのまま残っているからである。用途変更となると、また大きな問題が起きてくるが、昨年調査した全世帯住民のアンケートにも静かで住みやすい金華を願うが、約80%ある中で、今後大きな問題をかかえたことになる。

しかしながら、景観を守りたいという住民の意思を周辺に宣言しておく必要がある。そこで、考えなければならぬことは、自主協定の間を自主協定の署名用紙を廻して、新しい市民意識と組織行動力を付けなければならぬ時にきている。

他都市にみる自主協定書……

ここで他の都市でつくられ、注目を集めた自主協定書、「生活環境と景観を守る協約書」（以下、

自主協定）を紹介しよう。

この自主協定は、まず前文で「私たちの住む地区は「美しい名勝の地であり」、「この住環境と…景観がいつまでも保持されることを…願う」、住民の決意を次の通り…守っていく」としている。

続いて具体的な内容として、

- ①「豊かで美しい自然環境を保持し、これと調和した町づくりに努める。」
- ②「そのため「中低層住宅とする」とが好ましく」「原則として5階までの建物」とする。
- ③「建物を建築するときは、「この地区にふさわしい用途、外観、色調」を心がける。」

④「住環境保持のため、「緑化と公共空間の整備に努める。」

⑤「住民生活をおびやかす「騒音、深夜の照明などは慎む。」

⑥「この協約書に署名しない（不在）土地所有者にも「働きかけ理解を求めると定めている（その他は略）。」

この自主協定は、あくまで自主規制である。が、共同して自らの権利を制限し、住環境と景観を守ろうとする市民意識と組織行動力を敬意を払うものである。町づくりの一つの収束である自主協定書づくりに、金華に住む私たちは大きな宿題を持ち、今、出発点にたったことになる。

まちづくり先進事例視察

長浜に負けない

ボーダレスな情熱を

初年度のまちづくり事業計画の一つ、長浜市まちづくり先進事例視察が、平成元年十月十五日に実施されました。

この見学会は、他都市における活性化の実施例をこの目で確かめ



明治の名物建築「黒壁銀行」を保存しようとして、市民の手で「黒壁コーポレーション」が結成され、黒壁スクエアとして活性化の一翼をなっています。中にはガラス壁、ガラス工房、レストラン「ピストロ・ミューノール」、石畳の中庭には、大きな櫓が植えられ、町のシンボル広場になっています。左の写真は若者が揃いのジャンパーで、町を訪れる人々のガイドをして、町は活気にあふれています。

な地点に位置しています。

見学の拠点は、

- ①「ゾーンの要素をもつ新しいショッピングセンター「長浜楽市」
- ②「長浜城周辺の歴史・文化公園づくり
- ③「歴史の町並みを生かした活性化プロジェクト

の三箇所を視察しました。

①は、桃山時代の楽市楽座をイメージして、地元商店と大企業西武セゾングループとの共同によるショッピングセンターです。ここは、情報の発信源であるサテライトスタジオ、湖北情報センターをもち、ファッショングループでのニューファッションの情報提供。楽市広場、コミュニティ広場のイベントファミリーコーナーフード館。融雪設備をもつ千五百台収容の駐車場。という新しく生まれたニュータウンの中に、生活用品、レジャー用品、食品などが近代的な店舗でレイアウトされています。

②の長浜城は、豊臣秀吉（当時羽柴秀吉）が最初に城主になった城で、その広大な敷地は、市民公園となり、昭和五十八年に新築された三層五階の新城は、歴史博物館となりました。

③の中心地、長浜御坊表参道は、街路三百メートルの修景が行なわれています。四メートルの幅員を六メートルに拡張して昔の外観を復元。路面は、石畳舗装。道路側には、庇を付け、雁木によるファサードで、軒下一メートル以上の歩行通路を確保するように改装をしています。雪の対策も万全、地元商店街のまちづくりにかける熱意と連帯意識は、長浜活性の起爆剤となるでしょう。また、北国街道は、明治時代の建物を移築したり、住み替えをして古い街並みを整えています。

このように全市あげて歴史を生かすまちづくりを目指しています。長浜市御堂筋商店街振興組合

務局長の関谷松男氏は「町並みを生かした商店街再開」のコンセプトを次の様に語ってくれました。

長浜のまちづくりコンセプト

①他地区にないものの育成を目指すし、他地区と競争をするものではなく、自分たちの持っているものがあるものを育てていく。

②歴史・文化・地域性を時代の価値観で育てていく。

③食と住居の一体の良さの追求。の三つをあげました。事業費をみてみますと、行政は関わりを人間関係の充実に努め、最低ストックにあわせて、低金利の資金援助をされています。また、その保証を商店街で連帯責任で行ない、官民一体のまちづくりです。界外の長浜出身の企業は、長浜のまちの古い建物や文化的価値のあるものを買い取り、運営を町にまかせて、まちづくりに協力をしていく。黒壁スクエア、レストラン武羅坊などはその例で、文化面での支援はすばらしいものがあります。

一方、長浜市民は、長浜二十一日市民会議を組織して、側面から援助をしています。市民の大半が参加して諸問題の立案、検討に自由に参加し、法人一万円、個人千円の会費を納めています。この資金を基に、三分の二以上が市民の資金による全天候型の運動場が今年度には着工するという事です。

一般商品も店頭、イベントの案内、観光マップ、各種案内パンフレットを置いて、サービスにつとめている。町角には、ベンチを置いたり、休憩所をつくって、安心して、遊びながら買物ができるように配慮がゆきとどいています「客を迎える」という事業の展開みつつあります。

何よりも住民の目の輝きと熱意

がひしひしと伝わってきた一日でした。

最後になりましたが、見学会のレポートを多数提出していただきましたが、どのレポートもほぼ同じ感銘を受けたと報告されていますので、まとめた形で掲載させていただきます。ありがとうございました。

長浜に負けないように、人づくりに、まちづくりに頑張ります。

金華の街角

本町二丁目～大宮町
美しいハナミズキの
町並みになりました。



ハナミズキが咲いた美しい街路

県道本町一丁目～大宮町区間の県道整備竣工式典が5月16日に行なわれ、美しいアメリカハナミズキの街路樹と歩道が完成しました。美しい街に、素敵な緑をという計画のもとに、沿道の町内と県側で街路樹の選定の話合いが進みアメリカハナミズキと決まりました。アメリカハナミズキは、アメリカカヤマボウシの別名で、5月上旬に開花して、美しい花を咲かせます。この木は、日光のよくあたる排水のよい土地を好みます。この街路樹を立派に育てるのは私たち町内に住むものが、手にかけて管理してやらなければなりません。そして岐阜公園への表玄関としてアメリカハナミズキの並木を私たちの自慢にしたいものです。

自然と活力に満ちた個性ある豊かな金華のまちづくりをめざして.....

金華まちづくり

ニュース
3

発行/金華まちづくり協議会/1990年8月31日発行/事務局/岐阜市木造町24株タック内・Tel.0582-64-0824

人づくりに大きな力!!

吉田豊(前岐阜県教育長) 会長就任



金華まちづくり協議会が待ちに待った会長さんが決まりました。校下の皆さまのご理解で協議会がどうにか歩きはじめたとき、三井前会長さんの転出という事態になり、機関車をなくして途方に迷ってしまいました。その間、皆さまにはご迷惑をおかけしてしまいましたが、ここに素晴らしいお方を会長にお迎えすることができました。新会長の吉田豊さんは、前岐阜県教育長であり、メモリアルセンターの理事長という要職にありながら、心よく金華のためにと会長に就任いただきました。金華まちづくりは、「人づくり、町づくり」のテーマを進めてきましたが、人づくりに格好の人を得たこととなります。新会長をご紹介申し上げます。(ご挨拶は2頁)

Aゾーンからブロック別説明会始まる 観光バスによる交通渋滞深刻! 当事者の協議会参加がまず先か?

湊町・上材木町・御手洗・玉井町・元浜町・元浜町川畔・大宮町一丁目・大宮町二丁目

いよいよブロック別町内説明会が始まりました。

この会議は、金華まちづくり協議会が昨年の全世帯アンケートによるまとめを基に、歴史・文化・景観部会によって毎月2回、岐阜市の都市計画課、COM計画研究所の協力をえて、20数回の研究会を開き、協議会の毎月1回の定例会で、金華の基礎調査をまとめました。色々その町の問題点もみつき、協議会としてその問題を検討してきましたが、これは、調査によるまとめであり、そこに住んでいる住民の生の声を、ぜひ、直接ききたいと思ひ、このブロック別町内説明会を開催することになりました。

去る八月七日、金華公民館でA I地区、A II地区合同会議が開催されました。この地区は、湊町、元浜町、玉井町、元浜町川畔、上材木町、御手洗で、次の項目について活発な議論がかわされました。



バス1台でこの渋滞!!
観光バス1台で玉井町筋はご覧の渋滞です。この道は、狭い上に納涼台への金華山トンネルの抜け道として利用され、遊船事務所周辺の不法駐車、観光バスの乗降など、大きな問題点の一つです。対策が必要な所です。

- 主要生活道路の問題
 - 駐車場の問題
 - 長良川・河川敷の問題
 - 町並保全の問題
 - 観光地づくりの問題
- などが熱心に検討されました。
- 中でも旅館街のバス駐車、乗降による交通渋滞と環境について多くの要望がありました。対策として、他都市の観光地のように敷地

内に乗降場を持つか、別の駐車場を確保することが必要であり、かなわなければ、一方通行にしてもかまわないという意見がありました。この問題が解決されなければ町並保全、散策路として玉井町筋の魅力あるまちづくりは出来ないのではないのでしょうか。また、鶴飼事務所の前の駐車問題と遊船乗船場の溜り水を流水にして、川原

の砂利を取り、長良川の水を玉井町筋側に流し、古い町並、コミュニティ水路から川沿いに散策できるようにする。などの提案がありました。ただ、問題は、その中心になるであろう旅館街の会議への参加がないことが大きな問題として残りました。次回にはぜひ参加をしていただきたいと思ひます。

A III地区は、九日、天理教の会議室で開催された。この地区は、大宮町一丁目・二丁目、ここでもA I・II地区と同じ問題が中心となりました。

- 主要道路の問題
- 駐車場の問題
- 土地利用、住宅問題

などが討議されました。

岐阜公園をとりまく町として、やはり駐車場問題は、A I・II地区と同じであり、なかでも歴史博物館前のバス駐車場は、大型バスが歩道の上に張出して、歩道がその役目を果たさず、車道を歩くこ



歩道を占拠した観光バス群!!
岐阜市歴史博物館前の観光バス用駐車場前にはご覧の通りの危険がいっぱい/大型バスが石畳の歩道の上にまたがって駐車しています。観光客の乗降、定期バス停、青信号で発車した車と、車道を歩く人の交通事故がおきても不思議ではありません。

金華の街角

米屋町の西洋館
江戸期から現在も続いている町名、米屋町。古い街道の面影をどこかに見つけることができそうです。そして、この町のほぼ中央西側に素敵なレンガ造りの西洋館があります。大正年間



に建てられたモダンな建物が、石原美術です。オーナーの石原忠幸さんは、この建物をライトアップし米屋町全体をおしゃれストリートにしようと

考えていると目を輝かしています。この美術の館で、加藤唐九郎、金重陶陽、魯山人、川喜田半泥子の近代陶芸作品から、若手作家の作品を見ることが出来ます。二階のオリジナル食器は、一見の価値があります。一度、ご覧になってはいかがでしょうか.....(Y)

輝け、金華

金華まちづくり協議会会長 吉田 豊

金華小学校のグラウンドに「大い
ちよう」があります。
校舎がモダンな鉄筋に変わって
も、グラウンド東南の隅にあった「奉
安殿」や、校門そばの二宮金次郎
の銅像が立つ「馬車まわり」がな
くなって、この「大いちよう」に
はかわることなくグラウンドに立っ
ています。

私は金華小学校を訪れるたびに、
この「大いちよう」を見上げ、百
年を越す母校の歴史を偲び、さら
に未来をになうこともたちが、こ
の「大いちよう」のもとで、すこ

やかに育つことを祈っています。
同時に、この木を「邪魔もの扱
い」して切ることなく、今日まで
守ってこられた学校関係者の見識
に対し、心からの敬意をもつて
あります。

「金華のまち」は、幸いにその
大部分が戦災をまぬがれ、「古き
よき」建物やまち並みが、今なお
そのまま残っているものがある
あり、他県等から来た人が感動を
します。いや他県どころではあり
ません。金華校下に長く住んでい
てもそのすばらしさに気づかず、

教えられてはじめて驚き感動する
ようなことが時々あります
金華校下には多くの文化財があ
り、それらはみな深い歴史をもつ
ています。そして「川と山」があ
ります。

これらと「まち」を融合させな
がら、しかも新しい息吹を与え、
グレートアップして二十一世紀に
備える——私たちの子孫に対する
責任だと思えます。

しかし「まち」には人間が住ん
でいます。人間の心はさまざま
です。どのように「まちづくり」に
高めていくかは実は極めてたいへ
んなことでもあります。

協議会の会長に推されましたが、
金華校下のみならずとも歩い
ていきたいと思います。よろしく。

新しい町家びんごの提案……

ホープ計画(地域住宅計画)のあらまし

金華まちづくり協議会の検討資
料に6つの課題と23のテーマがあ
り、その課題の1つに「住宅・住
環境整備」があります。この課題
の中には、①公的住宅の供給②民
間住宅の建替・更新③居住環境整
備の3つのテーマがあります。

金華校下では、人口の流出。高
齢化。建物の建替、更新の時期が
来ている。空地が点在している。
高層マンション建設の動きがある。
地域生活環境の維持改善。伝統あ
るコミュニティの伝承復活などが
問題点としてあげられます。

岐阜発祥の地として「市民が中
心となったまちづくり」の運動が
「まちづくり協議会」としてすす
められています。金華の「住宅・住
環境整備」をより効率よく展開す
るために、ホープ計画(地域住宅
計画)・住宅政策として新しい町
家の提案がなされました。

これは、金華校下が、

- 市内中心部で重要な都市計画道
路等の基盤が未整理。
- 岐阜市発祥の地としての歴史・
文化の宝庫であり、自然に恵ま
れたまちのグレートアップが全
市の魅力向上につながる地区。
- 住宅建替えと良好な居住環境
形成が求められる地区
- 伝統産業等の活性化など多様な
まちづくり課題を内包したまち
- 市内の重要プロジェクトが予定
されている地域
- 地元が主体となった町づくり気
運が高まりつつある地域

と評価され、無秩序な開発ではな
く、金華山の眺望を損ねることな
く、落ち着いた暮らしを維持しな
がら住宅整備をしていこうという
試みです。

こうして、新しい一定の町家づ
くりのルールが機能すれば、金華
の特長である間口が狭く奥行の深
い土地、住宅内部坪庭も、立体的

に変化し、働く場所と住まいをつ
なぎ、新しい人間関係を創りだせ
ることになります。また、可能な
限り共同化することにより、金華
での暮らしが、ゆとりある居住ス
ペースとして整備されると思われ
ます。

ここにホープ計画の概要をお知
らせましたが、ルールに沿った
建替えを行った場合の法的援助や
地主の町づくりに対する理解と支
援がなければ、民間個人資本のみ
では中々といわざるをえないので
はないでしょうか。

9月例会
9月16日(日)
午前10時～12時
岐阜市歴史博物館
●テーマ●
高層マンション
問題 事例発表

金華まちづくり協議会「町委員」名簿

ソ	ブ	ブロック	ブロック長 運営委員	ブロック 町委員	担当町内・町委員電話
あなたの町内の 町委員をご確認 ください。					
A	1	中川	規雄	中川 規雄	湊町・上材木町・御手洗 ☎62-3305 玉井町 ☎63-0406 元浜町 ☎65-0344 元浜町川畔 ☎62-8248
				伊藤 利夫	湊町、上材木町、御手洗 ☎62-1461
				吉田 尚弘	大宮町1 ☎63-7260 大宮町2 ☎65-5030
B	1	山田	一郎	驚見 善治 日比野隆之 河合良信 浅野恒雄 山田一郎 安藤和弘	木挽町 ☎63-2381 上茶屋町 ☎64-1698 東材木町 ☎63-9894 上新町 ☎64-3622 上大久和町 ☎62-0696 今町1 ☎64-3856
				尾野 桂 神谷 鉦三 武藤 庄一 久保田嘉一 山口左右吉 山吉二郎 山口 行夫	山口町 ☎64-4884 下茶屋町 ☎64-7745 今町2 ☎64-2090 今町3 ☎62-1747 今町4 ☎63-4209 益屋町 ☎65-7561 大仏町 ☎62-1005
	3	藤井	保	亀山 智保 藤井 保太郎 河合慶太郎 加藤 正雄	梶川町 ☎62-9837 松ヶ枝町北 ☎63-6382 松ヶ枝町南 ☎62-3962 本町1 ☎64-4903
				白木 嘉昭 内藤 治夫 山本 茂 山本 林	松下町 ☎64-4925 夕陽ヶ丘 ☎64-0701 夕陽ヶ丘団地 ☎62-5801 松山町 ☎63-2315

C	2	貝崎	栄一	服部 洋三 村瀬 武夫 貝崎 栄一 藤沢 武治 日比 次郎 松野 惠三 前田美恵子 並河 雄二	西材木町 ☎62-1495 大工町 ☎63-7481 中大桑町・蜂屋町 ☎63-6351 久屋町 ☎63-2376 魚屋町 ☎62-1396 甚衛町下大桑町 ☎65-2701 中新町 ☎62-6939 布屋町 ☎64-1762
				片桐 幹夫	本町2 ☎62-0880 本町3 ☎62-2668 本町4 ☎63-0616 矢島町1上 ☎63-4508 矢島町1中 ☎64-2324 矢島町1下 ☎65-2985 矢島町2 ☎62-7747 間之町 ☎64-5019
				高木 幹雄	甚衛町 ☎65-2701 下新町 ☎63-7523 本町5 ☎62-6082 本町6 ☎64-9689 本町7 ☎65-9430
D	1	長尾	時布	伊藤 泰雄 若染 達男 高木 幹雄	木造町東 ☎64-0824 木造町西 ☎62-1775 啓運町 ☎62-3919
				長尾 時布 多田 明雄 棚橋 芳男 小池 誠三	上竹屋町 ☎63-9637 中竹屋町 ☎63-5506 大和町 ☎65-5720 靱屋町 ☎62-0202
	3	服部	實	山本佐七郎 立川 真吉 真野 昭治	松屋町 ☎62-0432 柴扇町 ☎63-8603 常盤町 ☎64-5567
				平井 照二 服部 實 水野 一大 片桐 豊	米屋町 ☎65-3601 白木町 ☎63-4347 伊奈波通2 ☎63-5910 伊奈波通3 ☎63-9089
4	河合	鉄治	藤井 進 河合 喜三 高橋 和生 河合 鉄治 土屋 邦夫 西野 洋一	末広町北 ☎63-0322 末広町南 ☎63-9105 末広町西 ☎64-0219 新桜町 ☎64-2325 伊奈波通1 ☎64-2400 万力町 ☎63-9554	

読まないとい損をする 6課題23テーマのまちづくり会議資料

情報を先取りして、豊かに生きる。これは、今の社会で欠くことのできない条件です。金華まちづくり協議会も、「自然と活力に満ちた個性ある豊かな金華のまちづくり」を目指して発足しました。設立以来、全戸にアンケートをして、その分析をし、それを基にして調査、研究をしてきました。

この膨大な資料を地元の町内に戻して、実際に住んでいる住民の声と重ね合わせてより豊かな金華をつくるために開催するのが、「ブロック別町内会議」です。この会議資料から、金華の未来の方向をキャッチして、自分の生活に生かしていただきたいと思えます。もし、あなたが、家を新築するか、改築するときは、どうするのか。折角家が出来たのに、数年先には、「まちづくり条例」で、家の一部を取壊さなければならぬことにもなりかねません。情報を活して、先を見て家を建てるのが大切だということが大変だということがわかりでしょう。

これは、ほんの一例にすぎませんが、この会議資料をよくお読みいただき、「私は知らなかった」といわないために、「ブロック別町内会議」にご出席いただき、あなたのご意見、提案をお聴かせください。

6課題	23のテーマ	金華まちづくり協議会の「まちづくり構想案」
道路・交通計画	岐阜駅高富線整備	<ul style="list-style-type: none"> ○既定計画(幅員)を前提とし、歩行者空間をできるかぎり確保した計画として整備する。 ○御用水道の復元(開渠)や歴史的界限ゾーンと調和した整備計画内容をめざす。 ○沿道の景観形成ルールづくりを関係者に働き掛け、魅力ある調和した街路景観づくりをめざす。
	主要生活道路・細街路整備	<ul style="list-style-type: none"> ○玉井町筋・松屋町筋・白木町筋等の主要生活道路から通過交通を排除するため、「一方通行」規制の見直しを行う。 ○幅員4m未満の細街路は、個別建替時に合せて整備する。松下・啓運・元浜町など3ヵ所は防災ゾーンとして対策を考え整備する。
	散策ルートの整備	<ul style="list-style-type: none"> ○金華の特性を生かし、長良川・金華山・玉井町・大仏・伊奈波神社の5ゾーンについて安全で魅力的な散策ルートを整備する。 ○徒歩・サイクリング・水運等の散策手段を整備するとともに、案内板やイラストマップ等でサービス・誘導をはかる。
	駐車場整備	<ul style="list-style-type: none"> ○観光用駐車場は適地を確保し、公共駐車場として整備する。 ○新規住宅建設については75~100%(住宅戸数)の駐車場整備を義務づけるとともに、民営駐車場との連携をはかりつつ路上駐車のないまちづくりをめざす。
土地利用方針	まちの将来イメージ	○金華の地域特性や住民意向に基づき、ゾーン別まちの将来イメージを確立し、街区ごとの整備の方向づけを行う。
	用途・機能	○金華を良好な都市居住地と位置づけ、それにうまくとけ込んで「生活」「生産」「再生産」機能が複合した魅力あるまちづくりをめざす。
	土地利用密度	<ul style="list-style-type: none"> ○金華全体としては、人口減少傾向に歯止めをかけ、新旧住民が融和した活気ある定住環境づくりのために「低・中層中密度快適居住地」をめざす。 ○坪庭など伝統的住宅様式や集住型によるオープンスペースの確保等により、ゆとりあるまちづくりをめざす。
	建物高さ	<ul style="list-style-type: none"> ○自然と歴史的町並みが一体となった金華の景観保全のため、建物高さを5~6階程度とする。 ○社寺をランドマークとした定住環境づくり等、各町ごとのまちづくり目標に基づき建物高さを検討・具体化する。
自然と歴史文化の活用・保全	金華山・権現山の活用・保全	<ul style="list-style-type: none"> ○金華山等の自然を生態系を壊さないよう現状保全する。 ○現状の登山道・散策ルートに限定し、適度な人工化を避けた整備をする。ドライブウェイコースは現状以上に設けない。 ○自然環境教育や観光レクリエーションの場としての活用を促し、自然を育み「りすのいるまち」など人間との共生をはかる。
	長良川・河川敷の活用・保全	<ul style="list-style-type: none"> ○長良川全体の自然的風景と清流を最大限保全・整備する。 ○安全性・快適性を考慮し、親水レクリエーションの場として多様に活用する。 ○堤防沿いの車交通制限・遊歩道とし、シーズン中は屋台・土産物店等により賑いを演出、公衆トイレ等施設を充実する。
	市街地内の緑保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○樹林・樹木は歴史的遺産でもあり、保存指定等により維持・保全する。 ○桜並木(長良川堤防、木造町、伊奈波参道)、花木(岐阜白鳥線)等の街路樹は、住民の協力で保全育成し、道路緑化を促進する。 ○神社仏閣の緑群の維持・保全、駐車場等の生垣緑化、民間敷地の緑化(シンボルツリー)を促進する。
	市街地内の水辺保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○忠節用水路は、自然を極力保全した親水性の高いコミュニティ水路として整備し、「蜚のまち」再生をめざす。 ○御用水道は可能な区間は開渠化し、保全するとともに、水路沿いの民間敷地の建替は親水性を高めた計画に誘導する。 ○御手洗池等の池や水路は、暗渠化せず、美化・保全する。 ○金華山麓の滝は保全・活用する。
	神社仏閣の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○金華校下33ヶ寺の大半が集積した伊奈波神社周辺・木造町の2箇所はゾーンとして保全する。そのほかの神社仏閣についても「文化財指定」等積極的に保全し、「33ヶ寺めぐり」などのコースづくりを計画する。 ○神社仏閣の由来等を発掘・紹介(ガイド版)したり、関係者の協力が得られるところでは「お茶会」「コンサート」「野市」等を企画し活用をはかる。
	歴史的町並み保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ○玉井町筋は「歴史的町並み保存ゾーン」とし、街路修景、町並み保全ルールを確立しながら景観整備を誘導する。 ○県道岐阜白鳥線と岐阜駅高富線に囲まれた周辺地域を「歴史的町並み界限ゾーン」とする。岐阜大仏・常在寺・山口町の「曲り家」や町家等の保全、倉等の再利用をはかり、散策ルート整備とあわせて、回遊性のあるゾーンをうみだす。 ○校下に点在した町家・倉等の開放・再利用等を住民の協力によって推進する。 ○歴史的資源を、ガイド板やイラストマップ等により住民の協力によって推進する。 ○タウンハイクやシンポジウム・語る会・写真・スケッチ展など、住民自らの「わがまち再発見」活動を多様に展開する。
生活文化資料館整備	○伝統的生活用具(民具)の寄付等により、金華の「生活文化館」をまちづくりセンター(サロン)と併設して整備する。	
住宅・住環境整備	公的住宅の供給	○用地の先行取得による公営住宅供給を検討するとともに、県住宅供給公社、住宅・都市整備公団、住宅金融公庫等による公共住宅建設を誘導する。
	民間住宅の建替・更新	<ul style="list-style-type: none"> ○老朽住宅の改造・建替を促進する。「住宅更新促進街区(5街区)」をはじめとして、共同建替が可能ところは積極的に誘導する。 ○「歴史的町並み保全ゾーン」等で建替える場合は、HOPE計画とも運動し、現代和風デザインを取り入れた「新町家」として、ルールと調和した住まいづくりを誘導する。 ○新しい生活様式や住要求に対応した「二世帯・三世帯住宅」「高齢者・生涯住宅」「コーポラティブ方式による住まいづくり」等を誘導・支援する。
	居住環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○「まちづくり憲章」を町単位で確立するように努め、住民の環境美化活動等、ソフトな住民による環境整備を促進する。 ○居住環境の改善やまちづくりに寄与した活動等を協議会として表彰する等、住民の意識向上に努める。 ○日常生活用品店や保育所など、生活必需・利便施設の整備・充実をはかる。
地域産業の振興	観光(地)振興	<ul style="list-style-type: none"> ○鶴飼観光は関係機関に改善・充実を求める。まちづくりでは、自然と歴史文化を生かした「アーバンリゾート地」にふさわしい生活文化観光を振興しつつ、拠点観光との連携をはかりながら、岐阜市の「アフターコンベンションゾーン」として整備する。 ○ホテル・旅館街を核とした「観光振興ゾーン」として、土産物店や飲食店等を充実させる。 ○玉井町筋町並み保全等と一体的なイメージアップを目指し、ガイドマップ等ソフトな取組みと連動させる。
	岐阜公園(城)整備と活用	○岐阜公園の多様な施設機能を適地に分散・充実させ、自然とけあつた歴史性のあるすっきりとした公園とする。
	老舗・魅力店舗対策	<ul style="list-style-type: none"> ○既存の老舗・魅力店舗を生かす。また、歴史的町家や倉を再利用し、複合市街地・地域住民の生活再建築等をめざし、住宅地と調和した画廊・ブティック・アトリエ工房・飲食店・ライブハウス等を積極的に経営・誘致する。 ○特に、周辺都市の紙・陶・金属・石・土・食等の地域資源や伝統技術等を、国際的視野にたつて将来的に再生するよう工夫する。松屋町筋などでは、統一イメージをもった「老舗・魅力店舗散策ゾーン」として整備する。
地域の活性化	地域文化・コミュニティ活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会連合会を中心に、各界の協力を得て「金華百年史」を編纂する。 ○「みこし復活保存会」やまつりの復活、「大仏フェスティバル」等、年中行事を継承発展させる。 ○伊奈波参道等での「市(いち)」や「コンサート」等のイベント(催し)をまちづくりとして取り組む。 ○「金華まちづくりニュース」を定期発行し、将来的には情報誌の発行を展望する。 ○地域の閉鎖性をなくし、異業種・異年齢等、多様な地域の集まりを発見・創造し、街角文化サロン(まちづくりサロン)づくりをすすめる。
	地域教育・地域福祉振興	<ul style="list-style-type: none"> ○PTA・子供会・スポーツ少年団等と連携した地域活動を発展させる。 ○外国との国際親善活動等、地域レベルの開かれた国際交流を発展させる。 ○老人会活動や行政の福祉施策と連動した高齢者の生きがい活動の振興をはかる。

金華まちづくり協議会総会

●平成二年度事業目標

- ①ブロック別町内説明会の開催
- ②金華の町の撮影会開催
- ③駐車場の状況調査
- ④ゴミの分離収集の実施
- ⑤金華まち紹介マップ作製
- ⑥まちづくりニュースの定期発行

町づくりは「人づくり」から まず出来る事から実行!

金華まちづくり協議会の平成元年度総会が六月二十四日午後七時から伊奈波参集殿で開かれました。議題は、①平成元年度の報告、②平成二年度の事業について、③協議会組織について協議されました。平成元年度の収支決算については別表をご覧ください。事業については、①ブロック別町内説明会の開催。これは、全世帯アンケートを基に歴史・文化・景観部会の調査、研究のまとめを各町内におろして、現場の生の声を聞き、再度まとめるための広聴会です。②金華の町の撮影会。これは、素晴らしい金華の町の写真コンテストで、金華の町の再発見をしようという試みです。③駐車場問題を取あげて、青空駐車、路上駐車等の調査をして、美しい町づくりを目指し、不法駐車をなくす運動を展開します。④環境問題の中で身近なゴミの出し方を、燃えるゴミと燃えないゴミをキチンと分けて出す運動の展開を計るもので、⑤④は、金華まちづくりの「人づくり」の部分を、やってみようという計画されました。これは、婦人会や交通安全協会のご支援とご指導

をいただきながら全校下をあげて住民のモラルを高揚する運動にならなければなりません。⑤金華を広くPRするためのマップづくり。⑥金華まちづくりニュースの定期発行等を提案し、賛同をえました。そして、これらの事業を進めて行くための援助資金の会費を二〇〇口以上を目標に頑張ろうと決議されました。



伊奈波参集殿で開催された金華まちづくり協議会総会

運営委員と町委員決まる。

また、各町内から「町委員」をお決めいただきました。A B C Dの4ゾーン、15ブロック69人の委員は、自治会長さんご協議いただき、それぞれの町の問題解決と提案の核となつて活躍いただきますようお願いします。15人のブロック長の皆さんは、協議会の運営委員として、定例会の運営や町内別会議の進行をお願いいたします。

また、各町内から「町委員」をお決めいただきました。A B C Dの4ゾーン、15ブロック69人の委員は、自治会長さんご協議いただき、それぞれの町の問題解決と提案の核となつて活躍いただきますようお願いします。15人のブロック長の皆さんは、協議会の運営委員として、定例会の運営や町内別会議の進行をお願いいたします。

金華の総力をあげて「まちづくり」に取り組み体制がようやくととのい、今後は「私たち金華に住んでいる一人一人が「金華のまちのために何をやるのか」が問われることとなります。私たち全員が組織や枠を越えて、知恵を出し、汗を出して素晴らしい活力あるまちづくりに取り組みましょう。

平成二年度 支援会費納入のお願い!

金華まちづくり協議会の体制も新会長に吉田豊氏のご就任をいただき、69人の町委員の選出によりとのいたしました。

ユースや部会だよりを一回でも多く発行をして、校下の皆さんのお宅へお配りできるよう頑張っております。どうか、ご理解をいただきましてご支援くださいますようお願い申し上げます。

に金華まちづくり協議会の口座が開設してありますのでよろしくお願ひいたします。

総会の席で、ご承認いただきました各事業を展開してまいります。事業費は、別表の通りですが、この協議会が、一人立ちするまではまったくボランティアなご支援で支えていかなければなりません。

支援会費は、一口、三、〇〇〇円です。中でも企業各位の多口のご支援を心よりお願いいたします。尚、支援会費のお振込先は――

お問ひ合わせは 金華まちづくり協議会事務局 岐阜市木造町24(林タック内) 電話6410824 伊藤泰雄まで

昨年アンケートにもありますように、校下の皆さんは、80%以上が「情報ほしい」とお答えいただきました。金華まちづくりニ

十六銀行竹屋町支店 口座番号0276918普通預金 口座番号0944952普通預金

地価が高騰した時の相続税は? 坪100万が400万になれば 1,680万円の相続税

例 土地100坪 法定相続人 妻と子ども2人

時価が坪当り100万円の場合

- 相続税評価額 50万円(一般的に時価の2分の1程度)×100坪=5,000万円
- 相続税の基礎控除 定額控除+法定相続人分控除 4,000万円+(800万円×3人)=6,400万円
- 相続税額の計算 5,000万円-6,400万円=税額なし

時価が坪当り400万円となった場合

- 相続税評価額(時価の2分の1と仮設) 200万円×100坪=2億円
- 相続税額の計算 2億円-6,400万円(基礎控除は前例に同じ)=1億3,600万円 13,600万円× $\frac{1}{2}$ ×15%-20万円=1,000万円 (13,600万円× $\frac{1}{2}$ × $\frac{1}{2}$ ×10%)×2人=680万円

合計 1,680万円

相続税の総額は、1,680万円となる。但し、妻が2分の1まで相続した場合はその割合に応じ、最高2分の1まで相続税が免除されます。

(注) 詳細にわたっては小規模宅地の特例等があります。

声

元議員 永井京子

町づくりに関して

町づくりにかかせない道路や施設の整備は多くの税金を使って出来る。この町に上がることを考えると、この町は、この地に住む人のみにかかわらず、全ての人の共通財産であることに気がきます。わがふるさ

とこの町は、訪れる人、通り過ぎる人をいつそう気持ちよく迎える、そんな町であってほしいと思っております。その一方、町づくりが進むに連れて土地の用途や建物の建築に規制が出来たり、地価が高騰していくことに一抹の不安を感じています。特に金華が岐阜の一等地で魅力的になればなるほど

固定資産税や地代・家賃の上昇は避けられず、そこに古くから住む弱者である高齢者世帯や零細企業は悲鳴をあげることとなるでしょう。この対策は容易ではありませんが、地域の人も幸せに暮らせる、この地を訪れる人も楽しんでもらえる町づくりを考えていく必要があるでしょう。

平成元年度収支決算書及び平成2年度収支予算書

■収入の部

項目	金額(円)	内訳等
会費	393,000	3,000円×131口
雑収入	458	金利
合計	393,458	

■支出の部

項目	金額(円)	内訳等
会議費	29,060	幹事会・研修会費
広報費	20,000	広報取扱費
連絡通信費	74,898	郵送代等
資料印刷費	78,600	印刷代等
事務用品費	27,377	備品
事務所維持費	10,000	事務所借用御礼
会場費	26,300	会場借上費
雑費	14,850	
翌年度繰越金	112,373	
合計	393,458	

上記相違ないことを報告します。 山吉 二郎

■収入の部

項目	金額(円)	内訳等
前年度繰越金	112,373	3,000円/1口×200口
会費	600,000	金利等
雑収入	10,000	
合計	722,373	

■支出の部

項目	金額(円)	内訳等
会議費	80,000	幹事会+3部会
広報費	300,000	
連絡通信費	103,000	
資料印刷費	60,000	
事務用品費	10,000	
部会費	150,000	50,000×3部会
事務所維持費	10,000	
予備費	9,373	
合計	722,373	

自然と活力に満ちた個性ある豊かな金華のまちづくりをめざして……

金華まちづくり

ニュース
5

発行/金華まちづくり協議会/1992年8月1日発行/事務局/岐阜市木造町24株タック内・Tel.0582-64-0824

平成3年度報告

■住まごびへの部会

定住できる住宅環境づくりをめざして

金華地区「新しい町家づくり」

ワークショップ開催される

金華地区の住まい・まちづくりの将来を考えたというワークショップが、地元住民の方々の参加によって、3回にわたって開かれました。これは、金華のまちづくり協議会を主体に、岐阜市HOPPE計画推進事業の理解とそれにより住宅を主とした金華地区の住まいの将来を考えてみようという試みです。

金華にお住まいの有志の方々にお集まりいただき、机上の議論だけでなく、実際に手を動かして、討論をしながら、協働して計画案をつくりました。

これは、従来とすれば一方的に行政や専門家によって示される計画案に賛成したり、反対したりという受け身の姿勢ではなく、自分たちのまちは、自分たちでつくっていくという積極的な方向を習慣づけていくための試みです。

金華地区において、現実に取り組む事態を想定しながらシミュレーションゲームによって住まいづくりを体験し、その過程における様々な課題に対し、自分たちの手で考え、実際の住まいづくりに活かしていこう、ということなのです。

このような趣旨のもと、3回にわたって開かれたワークショップの内容についてご報告します。



35名の住民と金華のまちづくり協議会住まいづくり部員が「新しい町家づくり」のためのワークショップに挑戦しました。3回のワークショップですが、毎回論議が盛り上がり、夜11時近くになるまで作業やまとめ、そしてグループ発表、全体討議をくり返しました。多くの論議は、地域のコミュニケーションづくりにも大いに役立ちました。あなたも、まちづくりの論議に加わりませんか！



■建物再利用部会

中大桑町の蔵

いよいよ活動拠点に

みんなの手で整備を

はじめよう！



協議会の拠点となる「蔵」の外観の内部。

中大桑町にある朝日大学所有の蔵を金華のまちづくりの拠点として古い建物を再利用しようとする計画を自分たちで行い、その熱意を大学側、行政に請願してきました。その間多くの方々の支援とご理解で使用許可の決断がなされいよいよオープンに向かって整備をはじめることになりました。関係各位に心から厚くお礼を申し上げます。

してくださるお方がありましたらご協力の程よろしくお願い申し上げます。少しずつですが、整備を進め、成果の見える楽しいボランティアですから、あなたのお力をぜひ、お貸しください。

蔵整備には、まず、雑草引きと蔵の中の掃除（雑布がけ）を行い、それと同時に、蔵に入るための階段と蔵の中の照明の電気工事を行わなければなりません。どうか、整備にあたり、技能（大工さん、電気工事屋さん）や材料の提供を

蔵の運営部会を発足させる予定です。ので、あなたもメンバーになって活躍ください。

金華のまちづくり協議会
臨時総会

日時 9月6日(日) AM10:00
場所 岐阜市歴史博物館講堂
●住まいづくり部会発表
●講演 まちづくりと景観
大内幸雄先生(予定)
(岐阜大学名誉教授)

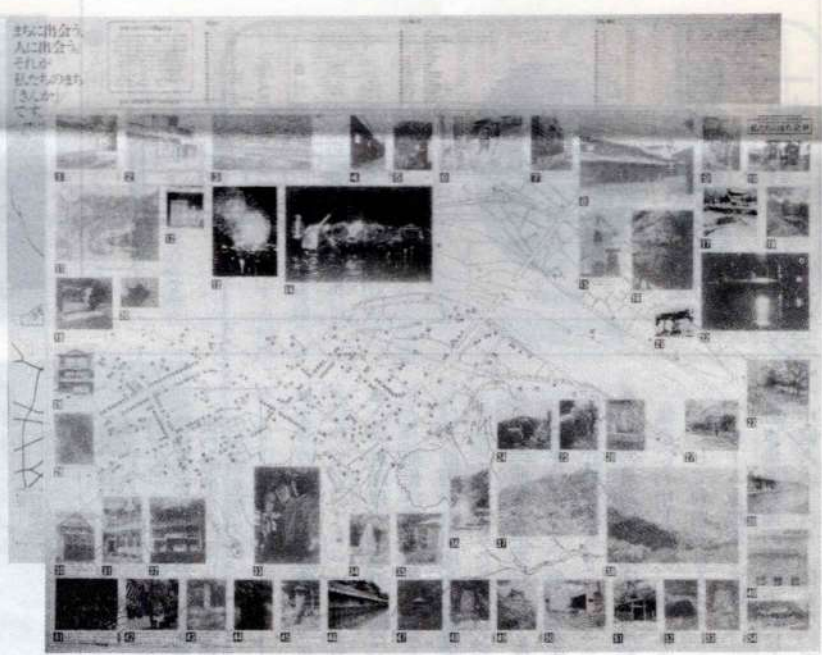
■金華ガイドマップ部会

金華のガイドマップ

8月発刊・配布

まちに出会う、人に出会う。そんな私たちが「まち」を「みる」のです。マップづくりが始まったのが、昨年の8月でした。岐阜駅に降り立つて案内所に立ち寄ってもガイドマップはありません。自分たちの住む地元でも、そんなマップはありません。そこで、自分たちのまちを再発見し、人に出会うことが、まちづくりであり、コンベンションと考え、地元の人たちはもちろん、外来者の皆さんにも便利に使ってもらえるマップづくりにとりかかりました。

レイアウトも終わり、再度の写真撮影、現地調査、文字情報の収集、コピーのチェック、文字校正と10ヶ月を費やしてようやくこの7月中旬には発刊の運びとなりました。この間、調査にあたり地区の皆さんには大変なご協力をいただき、誠にありがとうございました。なお、お寄せいただきました情報をすべて掲載できなかった部分がありますが、どうぞお許しいただきたいと存じます。



金華のことなら何でもわかるガイドマップ。B2判、全カラー印刷。

新しい住まいづくりを考える体験ゲーム〈デザインゲーム〉の試み

●金華地区の新しい住まいのイメージを考えるというテーマで、第1回目のワークショップが昨年9月16日に金華公民館で開かれた。参加者は3つのグループに分かれ、各グループ毎に机に向かい合せて座った。そして、向いの人の似顔絵を描いて自己紹介をし、全体の雰囲気を楽しんで話が始まりました。



みんなで描いた似顔絵の一部。

住宅の具体的な検討に入り、まずはじめに、現在自分が住んでいる住まいの間取りを描きました。次に、住みながら気に入っているところや、不便を感じているところ、何とか改善したいと思っているところなどを、あらかじめ用意されていたキーワード群の中から選びながら考えました。次に、将来金華地区の住まいづくりやまちづくりはどうあるべきかについて考え、目標となるべきイメージを用意された項目の中から2人1組になって選び、この後各グループ毎に議論を重ね、5つの項目に絞った。各グループとも、非常に活発に議論がはずんできました。そして、そのまともをグループ毎に代表が検討の結果を発表しました。

第1回ワークショップ

金華地区の新しい住まいのイメージを考える 91・9・16開催

- ステップ1 あいさつ
主催者 何故ワークショップという方法か？
- ステップ2 ワークショップ及びデザインゲームの説明
ワークショップの3回にわたる流れの説明。
- ステップ3 参加者の自己紹介
第1回デザインゲームの説明
全員の前の自己紹介
- グループ編成
各グループは7～8人。
計3グループ。
- ステップ4 各グループに分かれて
・ペアを組む。
・ペアを組んで互いに似顔絵を描く。
■ステップ5 今住んでいる家について
・簡単な間取り。
・気に入っているところ。
・不便を感じているところ。
- ステップ6 ここで住み続けるために
・こんな家に住みたい
・2人1組で目標カードを選ぶ。
各グループで数項目にまとめる
- ステップ7 発表会
各グループの代表が発表。

ワークショップとは

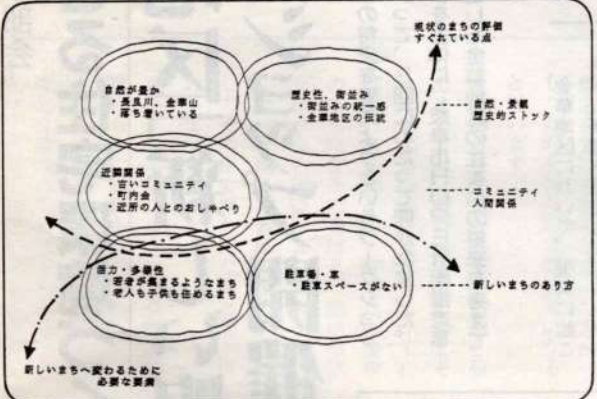
住民自身が、環境の創造や、維持、改善にかかわっていくため専門家や、行政などと一緒に自分たちが望む住まいや、まちづくりについて主体的にアイデアを出して、皆さんで話し合ってきたり、協同作業をいいます。ある目的に沿って疑似体験をしながら、個人で考えていることを少しずつ共有化し、集団での認識にまで高めていく創造活動です。また、デザインゲームとは、アメリカのノースカロライナ州立大学のヘンリー・サノフによって開発された集団での創造活動のために有効な話し合いの方法のことです。

第2回目は、第1回目を確認した考え方を基に、新しい住まいの具体的なイメージを検討しました。まず、地区内からモデル街区を選び、作業班によって街区全体の現状の模型(200分の1スケール)をつくりました。

第2回ワークショップ

金華地区の新しい住まいの具体的なイメージ検討 91・11・6開催

- 第1回ワークショップのまとめ・報告
・現状の問題点について
・将来の住まいのイメージについて
- 第2回ワークショップ
新しい住まいの具体的なイメージの検討
条件の異なる3つの敷地についてのケース・スタディ
- ①単独の敷地を考える。
②隣接の敷地を共同化して考える。
③数箇の敷地を共同化して考える。
- ステップ1 建物の用途について
・専用住宅
・二世帯住宅
・併用住宅
・その他
- ステップ2 敷地利用の考え方
第1回ワークショップで確認された要素をどのように活かしていくか？
- ステップ3 空間構成について
デザインゲームを通して、具体的に住まいづくりについて考える。
- ステップ4 各グループの発表
- ステップ5 議論
- ステップ6 発表
- ・互いに批評をし合う。



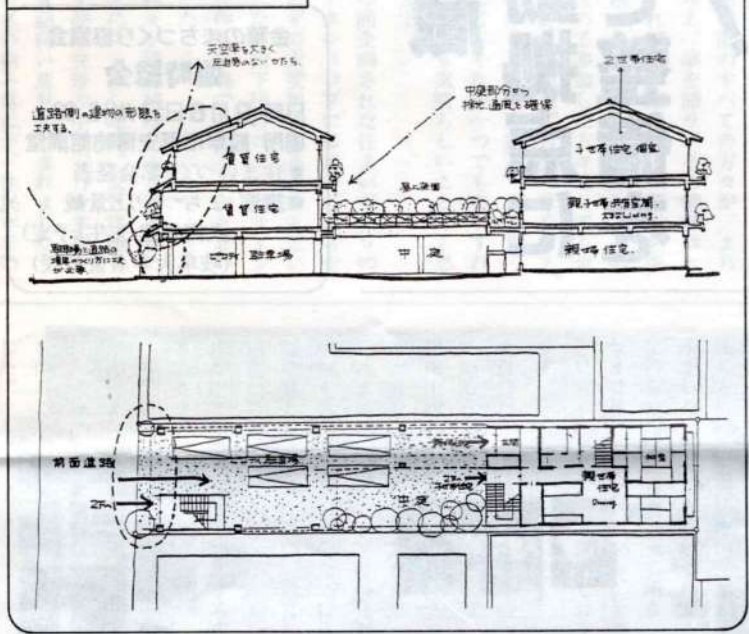
まず、グループ毎に計画条件の整理を行い、家族構成、住まい手のタイプを設定し、敷地にどんな用途の建物を建てるかを議論しました。次に、敷地利用の考え方についてまとめ、道路と建物との関係、駐車スペースの取り方、採光や通風に対する工夫などを考慮しながら計画を進めました。間取り図をつくるために、各所要スペースの大きさのカードを並べ変えながら、空間の配置や全体の構成について活発な議論を重ねて、各グループの案をわかりやすくまとめました。以下のような特徴を持っています。

敷地A

○2グループの計画案
短冊型の細長い敷地で、単独で建物の更新を考える。

- 敷地の奥に地権者の2世帯住宅をつくっている。この場合も完全に分離型2世帯住宅である。
- 道路側の1階はピロティにして駐車スペースを確保している。
- 敷地の中央に中庭を設け、通風や採光のための工夫をしている。
- ピロティの上は若夫婦層を対象とした賃貸住宅にして、若い世代の人々が地区内に住めるように考えている。
- 2階部分は人工地盤にして、庭園化している。

敷地Aでの検討



金華の街角

町並みにあわせた格子戸のお店



久屋町には、古い民家や商家が残っています。格子が長年の手入れで磨かれ、痩せて、そこに年代を感じます。大切に生活が生きついでいます。この町にある和菓子屋の両香堂さんも入口が、アルミサッシから、和風の格子戸の入口にかわりました。まさにやさしい心づかいに感謝し、私たちはそう心がけたいものです。

住まいづくりをお手伝いします。

金華は古い町並みが残り、大切にそのまちが保存されています。戦争による空襲を免れ、新しい町家づくりの時期にきています。現在お住まいの住宅の建替え、増改築の計画をお持ちの皆さまに、住宅金融公庫の新築、リフォーム資金(9月11日受付受付)、住宅の新築・増改築等のローンなど融資制度を取り揃え、住まいづくりのお手伝い出来るようお待ちしております。また、当行では建築業者の方々も併せてご紹介させていただきます。安心して住まいづくりをしていただけるようトータルな相談もお受けいたします。お気軽に窓口へご相談ください。

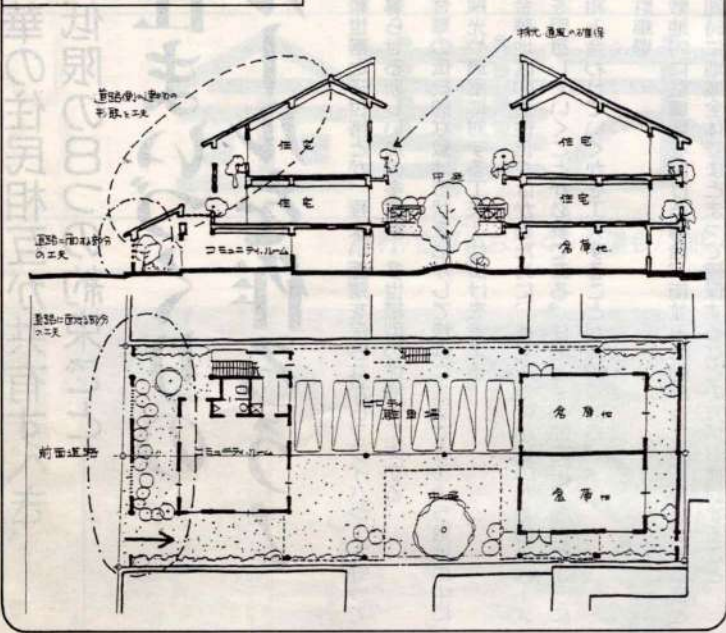
- 十六銀行竹屋町支店 ☎62-141-018
- 十六銀行材木町支店 ☎63-111-011

敷地B

日グループの計画案
隣接する2つの短冊型の細長い敷地を共同して、建物の更新を考える。

- 2つの隣接する地権者が、共同してつくる。
- この計画は、単独では開口が狭く、細長い敷地が2つとまれば、計画の自由度がどの程度増すかという試みである。
- 2つの地権者がそれぞれ2世帯住宅をつくって、余剰床を他に貸す計画である。
- 1階の道路に、地域の人たちの集會に利用したり、習い事の教室として利用できるコミュニティルームを提案している。
- 駐車場を敷地のほぼ中央にとり中庭スペースと一体となつてコ

敷地Bでの検討



- 5人の地権者が共同して建物をつくる。
- 1階は道路沿いに店舗スペースをとり、中心部に駐車スペースをとる。
- 北東の隅には、既存の井戸を活かしたポケットパークをつくっている。
- 駐車場の土は人工地盤にして、住民のための公園にする。公園

敷地C

Aグループの計画案
幹線道路に面した5つ程度の敷地がまとまって、建物の更新を考える。

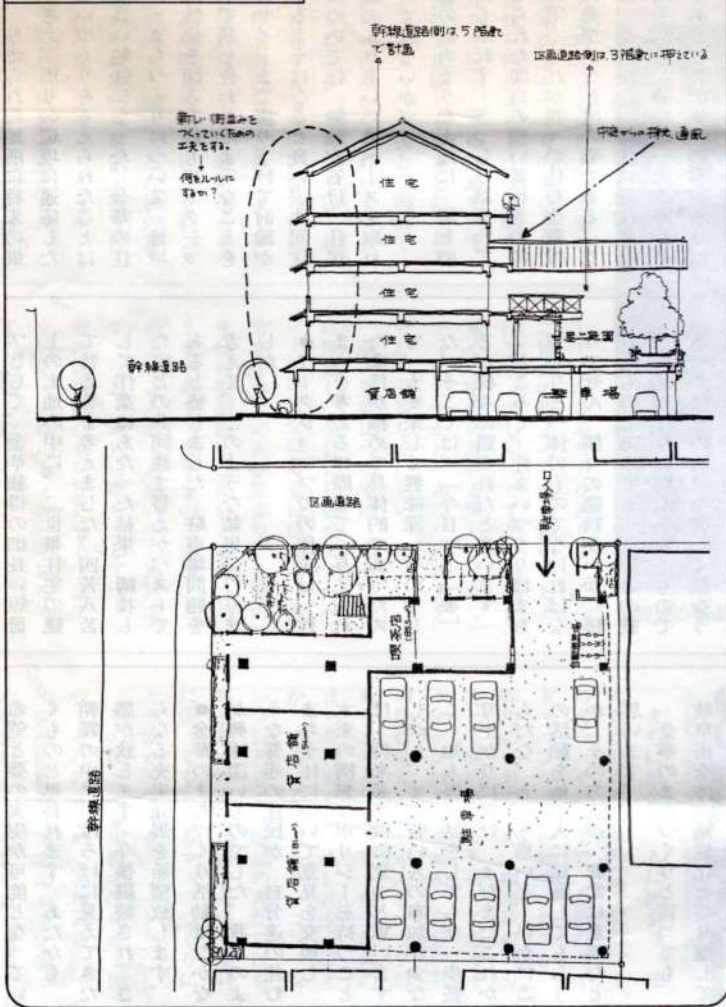
- ミュニティスペースを構成している。
- 駐車場の土は、人工地盤にして住宅部分の庭園として利用できるように考えている。
- 建物の形態を、金華山との連続性に配慮して山形にしている。
- まちの景観に配慮して、洗濯物などがあまり目立たないように、物干し場が工夫されている。
- 道路側に街並みをつくっていくための仕掛け（格子戸・軒先・塀）を工夫している。



- は、バーゴラのある芝生公園である。
- 2階から5階までは地権者用の住宅及び、賃貸用の住宅を設けている。
- 北側の幹線道路（旧電車道）側は、5階建てとし、東側の区画街道路側は、3階建てに高さの差を押し込んでいる。

- 第3回ワークショップ
金華地区の新しい住まい・まちづくりの課題の発見と整理
91・12・5開催
- 第2回ワークショップのまとめ・報告
Aグループ：敷地Cのまとめ
図面・模型 S-1・2000
Bグループ：敷地Bのまとめ
図面・模型 S-1・2000
Cグループ：敷地Aのまとめ
図面・模型 S-1・2000
- 第3回ワークショップ
住まい・まちづくりの課題発見と整理のためのワーク
・第2回ワークショップによって検討された4つの案について、6つのチェック項目に基づくワークショップ
・各グループ毎に、他のグループの図面・模型を基に検討
（検討の際のチェック項目）
①自然とのつながりについて
②街並み・景観について
③採光・通風などに対する工夫について
④近隣関係や、コミュニティについて
⑤まちの活力や、多様性について
⑥駐車場について
⑦ステップ
⑧全体討議
・検討結果についての発表
・新しい提案
・ステップ3
この地域の住まい・まちづくりの真の課題は何か。
何が継続課題なのか。

敷地Cでの検討



- 計画案の模型を既存の街区模型の中に置いてみて、ワークショップの中で確認された「住まい・まちづくりの課題である6つの視点」を中心に、計画案の評価すべき点や、考え直した方がよい点などについて、活発な議論が続きました。6つの視点は次のような内容であった。
- ①自然とのつながりについて
地域をとりまく長良川・金華山などの恵まれた自然を計画の中にどのように活かしていくかについて考える。
- ②街並み・景観について
古くから一定の秩序を持って成り立ってきた街並みなどの歴史的文脈を、現状に、どのように活かすことができるのか。また、岐阜市の景観上のシンボルともいえる金華山の山すそに広がる地域の中で、その美しい景観を損なわないように考えられているかについて考える。
- ③採光・通風について
金華地区に残る多くの古い町家は、間口が狭く、奥行きが長い短冊状の敷地の中で、集まって住むために考えられた極めて優れた都市型住宅である。とりわけ坪庭は、採光や通風を確保するための有効な仕掛けである。それらの工夫を新しい計画の中にどのように活かしていくか、また、それらに変わる新しい仕掛けがあるのかなどについて考える。
- ④近隣関係やコミュニティについて
町家の集合により成り立っていたまちには、強い地域のつながりが存在した。地域を支えていた基本的な生業が変化し、若年層が地域外へ移り、地域のつながりが変化してきている。そのような状況の中で、新しい住まいを考えるとき、新しい地域のコミュニティをどのようにしていくかについて考える。
- ⑤まちの活力や多様性について
若い世代の人々を呼び戻し、再び活力のある地域社会をつくるために、住まいやまちづくりはどうあるべきかについて考える。
- ⑥駐車場について
まちの新しい発展を考えると、不可欠な要素である車利用、及び、駐車場をどう確保するかを地域の課題として考えることが

一緒に考えませんか！ 景観部会



部会長
金森喜久雄

岐阜市においても、「岐阜市における緑・景観まちづくり整備計画」が策定中です。その中で、地域の市民運動等の活動に対し、景観形成に関わる市民組織の育成と強化・市民団体に対する奨励が、この景観部会です。

金やコンサルタントの派遣・推進のための人づくりとコミュニティの醸成・まちづくりや緑化協定などの締結の促進・市民参加による運動の展開と拡大、と基本方針がだされ、金華地区において具体的な事業が展開されます。そんなときに、私たちは、自分たちのまちの景観について、きちんとした意識をもてるよう研究を進めていくのが、この景観部会です。



あなたもボランティア！

金華に住む私たちは、金華のために、何かを受け持たたい。それが、自然と活力に満ち、個性あふれる豊かな金華のまちをつくることを考えて、協議会活動をしています。念願の蔵も準備に入ります。掃除に参加する、草引きに、改築の大工仕事に、運営のプログラム作り、花壇づくり、湯呑み茶碗を提供しようなど、色々な形で自分の出来ることに参加する。これがボランティアです。協議会は、勧誘や強制はしません。自分の意志で参加する人々で運営されています。そして協議会の集積体が金華のまちづくり協議会なのです。

金華の住民相互が共有すべき、最低限の〇〇〇の約束ごと

住まいづくりのルールを作ろう！

- ① 親世帯と子世帯とが、程よい距離を保ちながらプライバシーを守って暮らせる新しい形の多世代・多世帯型の住宅を工夫する。
 - ② 金華の伝統的な敷地形状を活かして快適に生活できるよう敷地の中に採光や通風に対する工夫・仕掛けを考える。
 - ③ 金華地区の活性化をはかるために、住宅以外の用途のためのスペースを用意していくことが必要である。住宅とその他の用途をどのように組み合わせるかを工夫することが課題である。
 - ④ 駐車場 敷地内に駐車場を設ける場合、街並みに配慮したつくり方をすると同時に地域全体でまとまって確保するなどの方策も検討すること。
 - ⑤ 街並み 古い街並みがつくられた歴史的な景観から現代に活かせるものを学び、接する道路との関係や道路に面する建物の位置や高さなどを考慮して、新しい形での街並みづくりを考える。
 - ⑥ 建物の高さ 金華山から長良川への景観の連続性に配慮し、適切な建物の高さ等を考える。
 - ⑦ 共同化 間口が狭く奥行きが長い敷地がいくつが集まると土地利用の自由度が高くなり、豊かな空間がつくり易くなるので、共同化の可能性も考えておくことが重要である。
 - ⑧ 小広場等の共有スペース、緑化スペースを創出する。共同化によってポケット広場や緑化スペースを創出し、地域にうるおいのある空間を確保していく。
- 以上の8項目は、ワークショップに参加したメンバーによる確認事項であり、これを住民全体で協議・検討して、金華の住まいづくりのあり方を位置づけ、良好な街づくりの指針を作成していきたいと考えています。
- 9月6日の臨時総会において議論し、採択し、まちづくりの一步としたいと思います。なお、金華では、これに先立ち木造町の「まちづくり憲章」が施行されていますので、内容を知りたいお方は、事務局までお申し出ください。

参加者の声

●好奇心から、ワークショップに参加させて頂きました。家を作ること、まず自分がどう生きたいのかと生き方を考えることと実感致しました。価値観の違う人たちが、一緒に何かを作るといふ事は難しいけれど、とても大切なことだと思います。作業する中で思

わすお互いの本音が出てしまい、とても親しみを感じました。これからの時代は老人にとってもは勿論、若い人にとっても地域に生きがいを持って生きることが出来るように、まちづくりが成されるよう願っています。

●今回、金華まちづくり委員会のメンバーとして、参加させていただいて、今さらながら金華校下の自然環境、歴史的伝統財産等に恵まれていることを痛感いたしました。又、ワークショップは、遊び心で作業し楽しかったです。

しかし、この会の上には金華のまちづくり協議会が存在しているのでしょうか？この会の位置が今一つよくわかりません。ワークショップ自体は、個人的には楽しかったですが、第2回ワークショップの金華地区の新しい住まいの具体的なイメージは、余りにも遊び心が多すぎ、現実のまちづくりとは少しかけ離れたのではないかと思います。第3回目においては住まい・まちづくりの課題6項目についての活発な議論までは良かったと思いますが、この検討結果が、住民相互に共有すべき最低限の約束事として決められるには、余りにもこの会のメンバー数も少ないし、又層も薄すぎると思います。今後この会の流れの想定を先に説明して頂いた方が、もっと的を得た有意義な会になると思います。

●参加させて頂いた時の感想と致しましては、皆様が本当に楽しんで、又自分達のまちをこうすれば夢のある楽しい、住み良い金華のまちになるのではと、熱い熱気を感じない訳にはまいりませんでした。今後私も皆様の中の一員としてその中で楽しみたいと思っております。

●小グループに分かれて自由な発想のもとに意見を出し合い一つのものにまとめることは、大変楽しく素晴らしいことである。住まいのまちづくりを全くの条件も

なく、与えられた場所に将来の展望を考え、周りの環境に適応した住まいづくりを考えられたことは大変良い勉強になった。金華の住まい・まちづくりについて、地域の活性化を図る為にもワークショップで話し合われたようなことを住民サイドまで掘り下げて議論ができるようになること、共同住宅については、無駄が省け、住民同志のふれあいのスペースを取れるのではないかと。

●猫の顔のような土地に、隣との余裕も取れず、ぎっしり詰まって建てられた間口の狭い奥行き深い住宅、これが我々の住む金華校下の典型的な住宅の姿である。しかし、これからの時代に近代的な生活を営むためには一大改革が必要であり、共同体への移管を真剣に考えなければならぬ。

余裕のある取組りが得られ、近代的な生活が可能になるが、自己財産の固有観念が非常に強い民族が共同化に踏み切れるだろうか。共有であるがためのトラブルは起きないだろうか。実現させるためには、まだまだ充分な検討が必要と思われる。

●1回しか出席出来なかったが、この思われた環境の住まいづくりの当然ながら関心を持たざるを得ない。

白壁の土蔵と格子造りの商家に金華山のバックは四季を通じて目を楽しませてくれる。その光景が徐々に失われていくことは、世の趨勢で止むを得ないものである。今このワークショップの試みもこのまちに相応しい生活の出来る二世帯の住める家造りの見本となること、我々住む者の心の響きとなってくれることを望むものである。

●ワークショップに参加させて頂き、とても勉強になりました。印象に残った事は、まちづくりの一体のものとして、皆さんが充分に景観を意識した建物を考えていることです。私は、Bグループとして、金華独自の細長い短冊上の土地の中に、二世帯住宅の建て替え等を考えました。四苦八苦して作業にあたった結果、隣接した家との共同建て替えがベストであると感じました。駐車場問題を考えて、このような結果になりました。

●ワークショップでの作業は、住まいを考える際に、与えられた条件が極めて具体的であったので、大変楽しく興味深いものでした。そこでは、「今日」と「夢」とが様々な語られたと思います。

ところで、住まいづくりはまちづくりと一体のものでなければなりません。個々の建物がいかに優れたものであっても、周囲との統一を乱したり、均衡を欠くものであつてはその価値を著しく損なうからです。ワークショップで出された意見は、まちづくりを考える上で貴重なヒントとなるものが数多くあつたと思います。活用されることを望みます。

●金華校下は高齢化社会の標本と言われ、沈没化へ向かっている地域とも言われているようです。ところがどうでしょう。参加された年配のすべての方が、まちを考え、夢を語り、その情熱はとすれば個に陥りやすい若者を遙に越えるものでした。そして、私を含めて参加した方々はとても金華が好きでした。自分の家を考え、それからまちを意識し、夢を語りそして、それが一つでも実現すれば、とても素晴らしいことだと思います。

●今回企画された住まいづくりのワークショップに参加し、老若を問わずの大変興味ある企画と思えました。校下民のコミュニケーション作りの場でもあろうかと思えました。

●我が描き続けた古き夢と若い現代にマッチした夢。交互に織りなす夢の交差の中で、各々多様な大変面白い意見が生まれました。これらの積み重ねが、住民本来の

希望と夢の実現が可能となっていくものと思われたい。あたくも、朝霧の中におぼろげに見えてきた感が致します。今後継続され、さらなる充実発展を希望致します。

●金華のまちづくり活動はなかなか興味深いものでした。我々のような普通の住民が、自分達の住むまち全体について意見を交換し、本来の構想にポリシーを持つことは、将来必ず役に立つと思います。しかし、まだ若い人の参加が少なく、知人等に話をしても今一歩盛り上がりには欠け、まだまだこれからだな、という思いと、いかにこの活動を他の人に認識してもらおうか、その方法が、非常に重要だと思えます。

●金華のまちづくりと言っても、岐阜市全体の活性化と切り離して考えることは出来ないと思っておりますし、その為、行政側、とりわけ市役所のフレキシブル且つ強力なリーダーシップを望みたいと思えます。

●自分で自宅の絵を描くことを久しく忘れており、その作業の中で新たな数々のチェックも出来ました。さらに、自宅の周辺の家々の建て方に、一層興味を抱く事が出来ました。やってみないとわからないものだと思わせて頂き、今までは違った観点から、金華を見直す一助とさせて頂いております。

●自分たちの考え方が、話し合っているうちに何となくまとまり、出来上がった案は、とても一人では出来ない素晴らしい案だと思っていました。グループ毎の発表に対する意見等で、自分たちは立派な案と思っていたのが、色々な角度から検討されると、不十分な点が出て来て「ハッ！」とする事もありました。

●利害関係や考え方の相違等、一つのモデルを作るにも充分検討して、種々の意見を反映したものを考えることが大切であると思えました。

●毎回色々な企画をされて大変と思っております。金華地区は被災を免れましたが、今となってはその姿は現代のとは言えません。そんな地区をワークショップで検討するのであれば、現状を十分に満たしたまちづくりに努力したいと思えます。過疎化に例えれば、「古」は脱皮で「新」です。「新」は「脱進」です。若者達は、脱進を「強」と考えていると思います。まず、過疎にならないように、現状の生活環境、各家庭内容を取り入れたいと、なかなか理想を追求する事は出来ません。現在の時点から100%先を見るのではなく、10%先を考えてもいいと思っております。

●家作りという本来、個人の考える領域にまで踏み込んで皆で考えるということは、ナンセンスだと思っております。ところが、参加してみると、金華という地域に合わせたシミュレーションの中で、意見交換、共同作業を重ねるうちに、快適な家というものは、地域と調和してこそ住みよい家になるのだと思ひ直しました。

●古くから親しんできたまちと、現代的な生活の接点を考え直す機会を作ってくれました。このような場を、もっと多くの人に知ってもらいたいと思っております。

●金華のまちづくりワークショップへの参加を依頼され、予備知識もなく参加させて頂きました。金華における住環境の現状を踏まえ、我々の今後における住まいの理想を追求する形で、箱庭的な発想も若干ありましたが、それなりの研究成果があったと思えます。しかし、土地問題等容易に解決出来ない問題もあり、もっと広範囲にわたり研究しなければ片手落ちであると思ひました。

●行政当局におかれましては、住宅関係以外にも担当窓口を広げ、問題点を掘り起こし、一つ一つ研究討議していくことが必要と考えます。金華のまちが、一層活性化することを望んでやみません。